

もし七ヶ宿ダムがなかったら！

近年 1 時間雨量100mm前後の猛烈な集中豪雨による洪水被害が多く発生しています。
全国的に大きな話題となった平成16年の福井豪雨（時間最大88mm）の洪水が
七ヶ宿ダム・白石地域に来襲したら！

福井豪雨洪水（平成16年7月）

概要：福井県の足羽川等で破堤 2 箇所、護岸破損や溢水等多数。

特に福井市内の破堤により大きな被害を出しました。

- ・雨量：総雨量約280mm、時間最大88mm
- ・被害：死者4名、行方不明者1名
住宅全壊66棟、床上浸水4,052棟、床下浸水9,674棟

福井豪雨シミュレーション

下のメニューから選択して下さい。

白石地区での洪水予測

ダム貯水位の予測

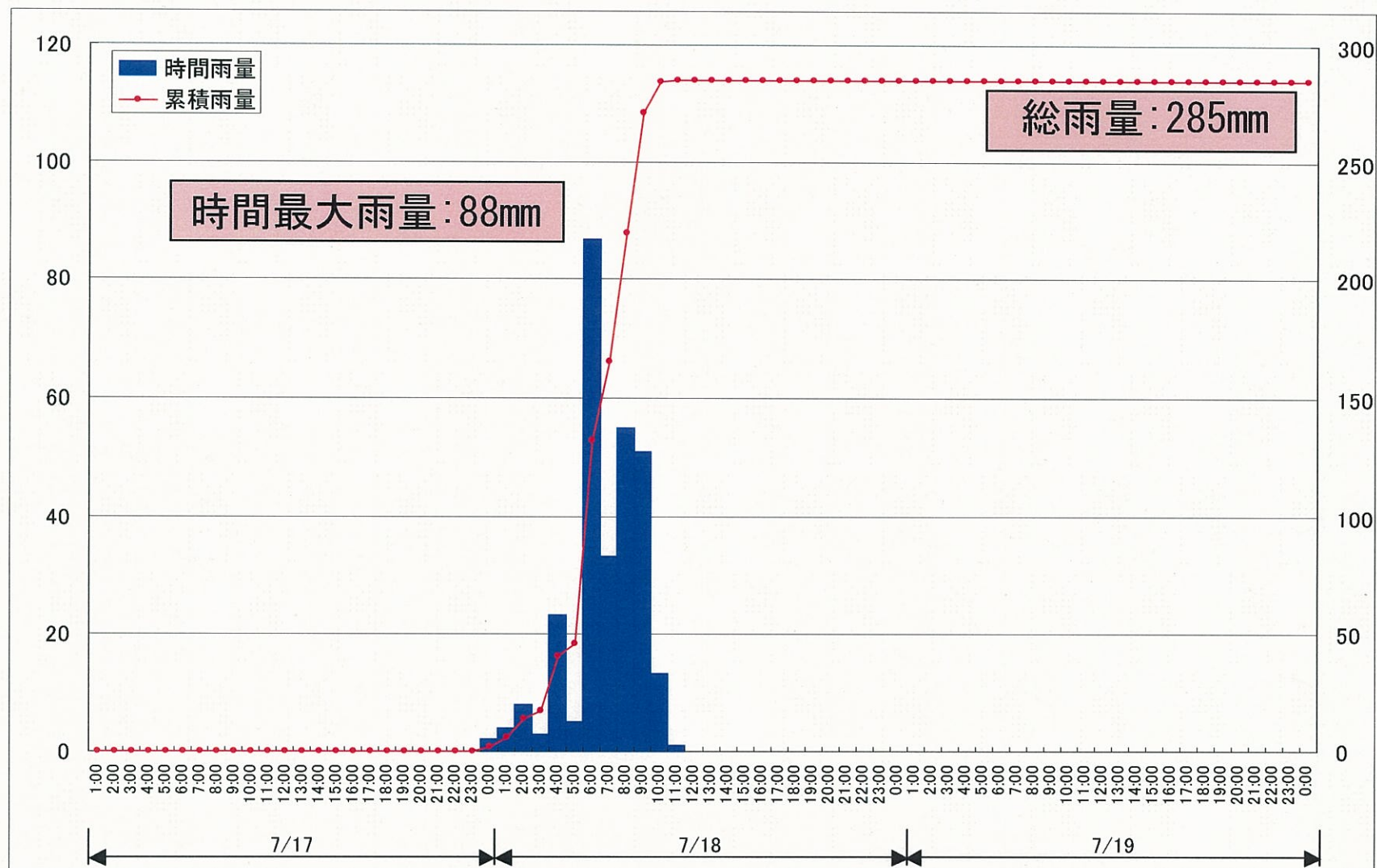
雨量データ (H16福井)

洪水の比較

※平成16年福井豪雨において美山観測所で観測された雨を白石川流域に降らせた場合の洪水をシミュレーションによって検証してみたものです。

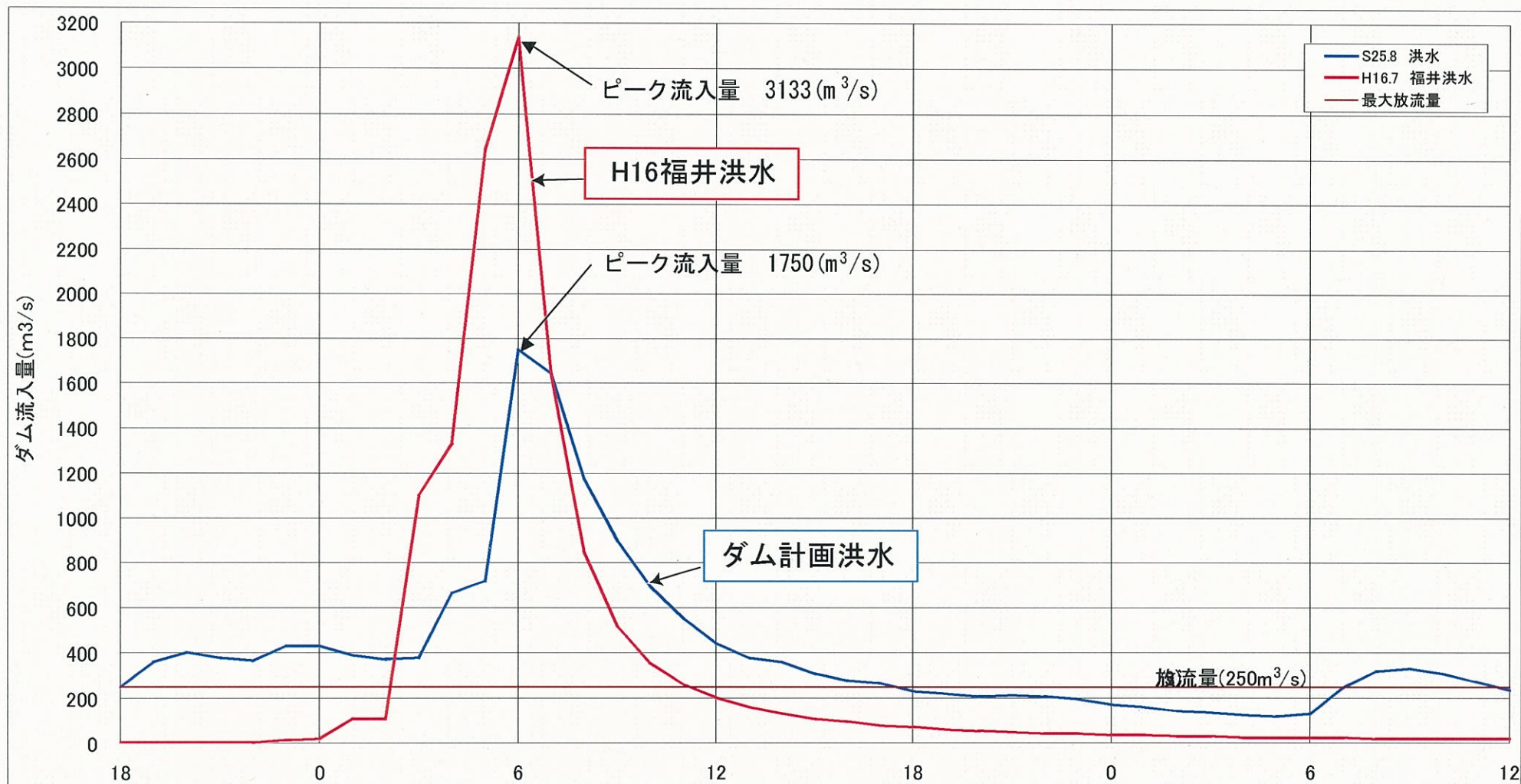
雨量データ：福井県美山観測所（気象庁）

平成16年7月18日、美山観測所で1時間最大雨量88mm、総雨量285mmを観測しました。



洪水の比較（ダム地点での流入量）

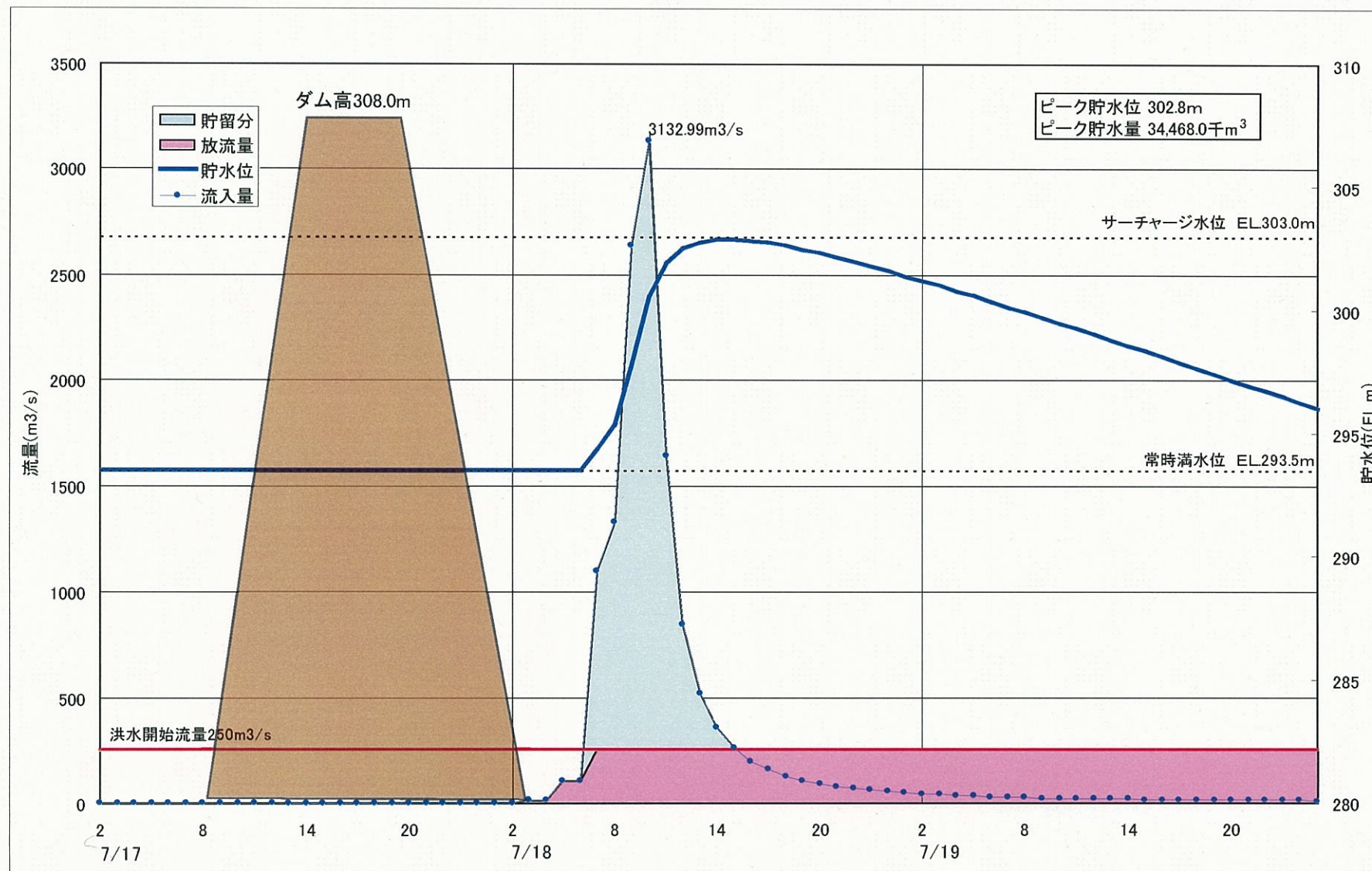
七ヶ宿ダムの計画洪水である昭和25年8月の洪水と、平成16年7月福井洪水を比較しました。短時間に降雨が集中したH16福井洪水はピーク流入量 $3,133 \text{ m}^3/\text{s}$ と計画洪水の約1.8倍の非常に高いピーク流量を示します。



ダム貯水位の予測

平成16年の福井洪水を七ヶ宿ダムにあてはめると、ダム貯水位はサーチャージ水位にほぼ等しい302.8mと予測されます。

七ヶ宿ダムはH16年福井洪水にも対応が可能です。



七ヶ宿ダムの洪水調節（イメージ）

平成16年の福井豪雨と同じ雨が白石川流域で降った場合、もし七ヶ宿ダムがなかったら白石地点で4,650m³/sの流量になり白石川が溢水します。しかし、七ヶ宿ダムで2,850m³/sの洪水を貯留することにより白石地点で1,800m³/sの流量に抑えることができます。

